

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-509529 (P2001-509529A)

【公表日】平成 13 年 7 月 24 日 (2001.7.24)

【出願番号】特願 2000-502110 (P2000-502110)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 19/00 (2006.01)**

**B 6 0 C 1/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/17 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/31 (2006.01)**

**C 0 8 L 21/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/54 (2006.01)**

**B 2 9 C 35/02 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 19/00

B 6 0 C 1/00 A

C 0 8 K 5/17

C 0 8 K 5/31

C 0 8 L 21/00

C 0 8 K 5/54

B 2 9 C 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 27 日 (2005.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

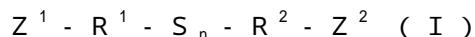
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 硫黄により加硫化可能なゴム組成物であって、以下の a) ~ d) 成分：

a) ジエンポリマー、オレフィン/モノマー性ジエンコポリマー及びハロゲン化イソオレフィン/パラアルキルスチレンコポリマーからなる群から選択された少なくとも 1 種のポリマー；

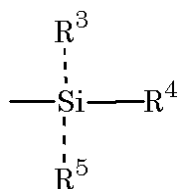
b) フィラーとしてのシリカ；

c) 次の一般式 (I) を有する、シリカ及びポリマー間の結合を促進する、少なくとも 1 種の剤：



式中、n は 2 ~ 8 の整数であり、 $R^1$  及び  $R^2$  は、同一であっても異なってもよく、それぞれ、全炭素原子数 1 ~ 18 の置換又は未置換アルキレン基及び全炭素原子数 6 ~ 12 の置換又は未置換アリーレン基から選択されたものであり、

$Z^1$  及び  $Z^2$  は、同一であっても異なってもよく、それぞれ、以下の基を表し：



ここで、 $\text{R}^3$ 、 $\text{R}^4$ 及び $\text{R}^5$ は、同一であっても異なってもよく、それぞれ、炭素原子数1～4のアルキル基、フェニル基、炭素原子数1～8のアルコキシ基及び炭素原子数5～8のシクロアルコキシ基から選択されたものであり、但し、 $\text{R}^3$ 、 $\text{R}^4$ 及び $\text{R}^5$ の少なくとも1つは、アルコキシ又はシクロアルコキシであり；

d) アルキル、アリアル又はアラルキル基から選択された、同一であっても異なってもよい、少なくとも2つの基により置換された、少なくとも1種のグアニジン；

を含み、以下の特徴(i)及び(ii)の少なくとも一方を満足させることを特徴とする該組成物：

(i) 鎖の末端に結合した、脂肪族又は脂環式アミンの末端アミノ基少なくとも1つを有するジエンポリマー少なくとも1つを含み、該ポリマーには、アルコキシシラン及びシラノール基は含まれない；

(ii) 少なくとも1種の遊離脂肪族又は脂環式アミンを含む。

【請求項2】 フィラーの全てがシリカからなるか、又はフィラーが少なくとも40質量%、好ましくは少なくとも50質量%のシリカを含む請求項1記載の組成物。

【請求項3】 グアニジン又はグアニジン混合物の含量が、シリカすなわちシリカ総量に基づいて0.5～4質量%、好ましくは1～3質量%である請求項1又は2記載の組成物。

【請求項4】 遊離脂肪族又は脂環式アミン、又は遊離脂肪族又は脂環式アミン混合物の含量が、シリカすなわちシリカ総量に基づいて0.5～4質量%、好ましくは1～3質量%である請求項1ないし3のいずれか1項記載の組成物。

【請求項5】 ポリマーが溶液中において製造され、かつ、脂肪族又は脂環式アミンが重合終了後、溶媒のストリッピング前に該溶液に導入される請求項1ないし4のいずれか1項記載の組成物。

【請求項6】 請求項1ないし5のいずれか1項記載の組成物を少なくとも1種含むタイヤ。